

4°C

holdings group

株主の皆様へ

～ すべては、お客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役社長
増田 英紀

株式会社4°Cホールディングス 第73期第3四半期株主通信

(2022年3月1日から2022年11月30日まで)

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および感染拡大により影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い回復と感染症の早期収束をお祈りいたします。

2023年2月期第3四半期の総括

2023年2月期第3四半期累計期間(2022年3月1日～2022年11月30日)の連結業績は、売上高284億02百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益10億44百万円(同40.1%増)、経常利益13億28百万円(同13.6%増)、当期純利益7億39百万円(同23.2%増)となりました。

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、ブライダルジュエリーは苦戦が続いておりますが、プレスレットやピアスといったファッションアイテムが堅調に推移いたしました。

アパレル事業では、デイリーファッション「パレット」は関東初出店の4店舗を含む10店舗の新規出店により売上高は拡大いたしました。アスティグループは、一部で円安や原材料価格高騰の影響を受けたものの、需要回復と生産背景を活かした主要得意先との取り組み強化が奏功し、売上高は拡大いたしました。

通期業績見通しについて

2022年10月7日に公表しました2023年2月期通期連結業績予想に対する進捗において、ジュエリー事業、アパレル事業ともに増収増益は確保したものの、計画は下回る結果となりました。ジュエリー事業に

おいて、ファッションジュエリーは女性客拡大に向けた各種施策が奏功し、前年を上回って推移しましたが、ブライダルジュエリーが業績回復の遅れをカバーしきれませんでした。また、ギフト需要の低下や地方店の苦戦等により、ジュエリー事業の最大需要期であるクリスマス商戦の売上高が計画を下回る結果となりました。このほか、店舗および保有不動産等の減損損失計上による特別損失の発生が見込まれ、これらの状況を踏まえ、通期連結業績につきまして、前回発表時の予想を修正いたしました。

なお、今期の1株当たり年間配当金につきましては、コロナ禍の業績影響があくまで一時的であることから、年間83円を変更せず実施する予定であります。

ジュエリー事業においては「選択と集中」を推進し、今後の成長分野への投資を積極的に行なうため、構造改革を断行してまいります。今後、ブライダル専門店の店舗集約と大型投資による都市型店舗の旗艦店化を推し進め、ブランド価値を向上させます。この方針の下、ブライダル専門店14店舗を計画的に閉鎖し、横浜店に続き、銀座本店・名古屋店の大型改装を行う予定です。なお、現時点で想定される損益への影響額は当該業績予想に織り込み済みです。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第6次中期経営計画の基本方針

(2022年2月期～2024年2月期)

方向性

ジュエリー事業 「4°C」ブランドの価値向上に向けた投資の実行
アパレル事業 「パレット」の成長で売上拡大を牽引

第二の柱の確立による
強固な事業ポートフォリオ構築

事業ビジョン

1 ジュエリー事業

- 「4°C」ジュエリーのブランド価値向上
- 「Canal4°C」の出店拡大
- お客様とのエンゲージメント強化によるLTV*向上
- デジタル戦略の高度化とEC売上高の拡大
- 高収益体質の維持・強化

*LTV(ライフ・タイム・バリュー)：顧客生涯価値。

2 アパレル事業

- 「パレット」の出店拡大による関西ドミナントの更なる深耕と組織体制・運営力強化
- 海外生産拠点の再構築・強化と新たなマーケット創造

組織ビジョン

1 グループ経営管理機能の強化

2 グループ人材育成の推進

3 新常態に向けた働き方改革の推進

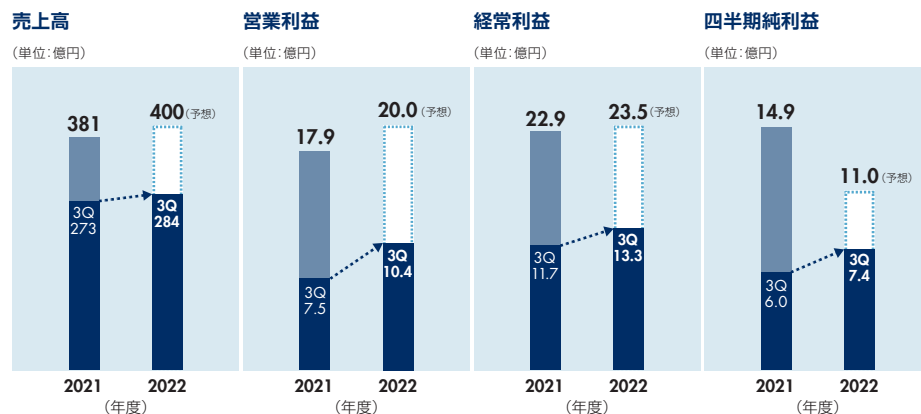
2023年2月期第3四半期(2022年3月～11月)連結決算概要

2023年2月期第3四半期連結業績

- 2023年2月期第3四半期累計期間(3月～11月)は、ジュエリー・アパレル事業ともに堅調に推移し、増収増益となりました。
- アパレル事業は円安や原材料価格高騰の影響により減益となりましたが、ジュエリー事業が健闘したことにより、利益は二桁増となりました。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
28,402 百万円 (前年同期比 +3.7%)	1,044 百万円 (前年同期比 +40.1%)	1,328 百万円 (前年同期比 +13.6%)	739 百万円 (前年同期比 +23.2%)

(注) 不動産賃貸収入および不動産賃貸費用について、従来「営業外収益」、「販売費及び一般管理費」および「営業外費用」に計上していましたが、当連結会計年度より「売上高」および「売上原価」に計上する方法に変更し、これに伴い、前期、当期ともに表示方法を変更しています。また、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

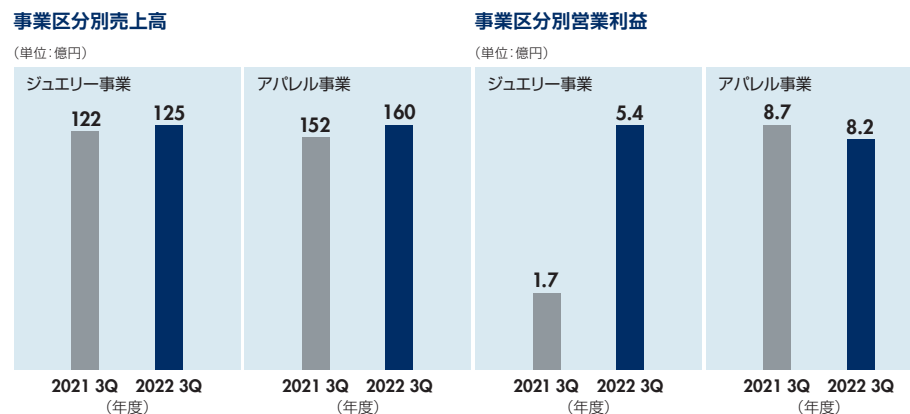


セグメント情報

- ジュエリー事業は増収増益となりました。ピアス・ブレスレットをはじめとしたファッションジュエリーが堅調に推移しました。サイトをリニューアルした EC事業の売上高も順調に拡大いたしました。
- アパレル事業は増収減益となりました。デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、関東初出店の4店舗を含む10店舗の新規出店により、売上高は拡大しました。アスティグループは、一部で円安や原材料価格高騰の影響を受けたものの、需要回復と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、売上高は拡大しました。

事業区分別業績	売上高 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2022年2月期第3四半期	2023年2月期第3四半期	前年同期比(%)	2022年2月期第3四半期	2023年2月期第3四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	12,186	12,475	+2.4	166	537	+223.3
アパレル事業	15,192	15,927	+4.8	872	816	△6.4

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する売上高を表示しています。



トピックス

新ブランド「RUGIADA」の展開

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2022年12月8日(木)より、ジュエリーブランド「RUGIADA(ルジアダ)」がスタートいたしました。1996年、パリのボナパルト通りに誕生した「RUGIADA」。店舗での展開を一時取りやめておりましたが、このたび、D2Cブランドとして新たに展開をしております。スタートにあたっては、従来の「RUGIADA」のエッセンスを活かしながらデザインをモダンにアップデート。また、従来はK18ゴールドでお作りしておりましたが、より幅広いお客様に



デザインをモダンにアップデート

気軽に身に付けていただけるよう、シルバーにコーティングを施した素材をご用意しております。ブランド名の由来でもある「朝露」のようにフレッシュでエレガントな輝きを、これまで以上に沢山のお客様へお届けいたします。

「4℃」オフィシャルサイト サステナビリティコンテンツ新設

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

(株)エフ・ディ・シー・プロダクツでは、オフィシャルサイトにて、サステナビリティへの取り組みに関するコンテンツを新設しました。本サイトでは、調達、人権、環境、多様性など、さまざまな社会課題に関する「4℃」の取り組みを紹介しています。今後も継続的に取り組みを強化し、サステナブル経営の面でもジュエリー業界の先頭を走っていきます。

ぜひ一度、オフィシャルサイトをご覧ください。

<https://www.fdcpc.co.jp/Page/sustainability/>



オフィシャルサイトにて、サステナビリティの取り組みを発信

広島地域密着イベント「卸街まつり」に参加

株式会社アスティ

(株)アスティは2022年12月3日(土)・4日(日)に、広島総合卸センターが主催する「卸街まつり」に参加しました。「卸街まつり」は、年に一度、街と地域と人がつながる地域密着型イベントで、今年17回目を迎えました。(株)アスティは、イベントを盛り上げるため、毎年販売ブースを出店しています。今後も地域貢献に取り組んでまいります。



「卸街まつり」ポスター

「パレット」関東圏4店舗新規出店

株式会社アーजू

デイリーファッション「パレット」は、2022年9月22日(木)に東京都稲城市にフレスポ若葉台、9月29日(木)に東京都八王子市にアクロスモール八王子みなみ野店、10月19日(水)に神奈川県横浜市青葉区に桜台店、10月26日(水)には東京都調布市に深大寺店をオープンしました。「パレット」として関東圏への初進出となり、今年度は4店舗を新規出店いたしました。今後、関東圏へは年次で3~5店舗の出店を計画しております。「パレット」は引き続き出店拡大を行うとともに、暮らしを、ファッションを楽しみたいというお客様のために、いつも楽しい商品とサービスを提供し続けてまいります。



「パレット」深大寺店

TCFDへの賛同表明および情報開示について

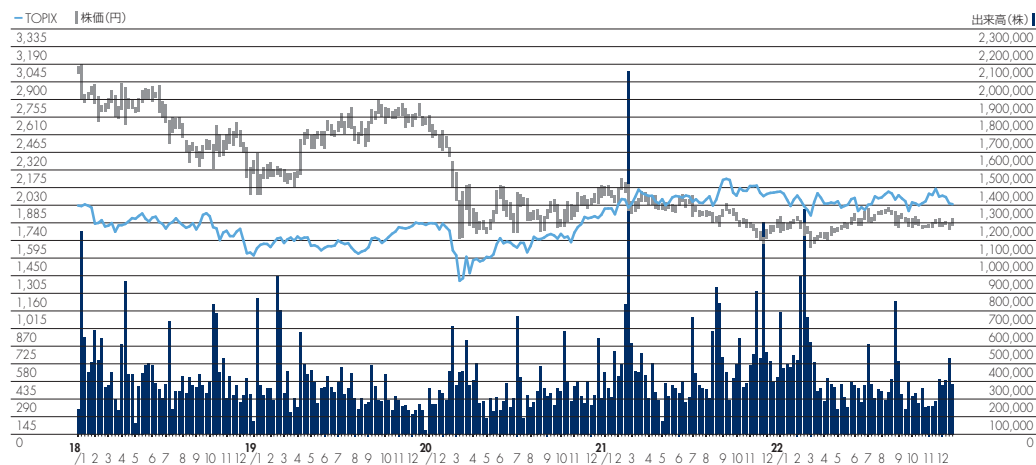
当社は、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明し、TCFD提言に沿った情報開示を行うとともに、TCFD提言に賛同する企業や金融機関等が取り組みについて議論する場であるTCFDコンソーシアムへ参画いたします。当社では、気候変動への対応を経営上の重要課題と位置づけ、「サステナビリティ基本方針」の下、様々な取り組みを進めております。

今後も、持続可能な社会の実現に向けて、気候変動への影響を軽減するために、事業活動全般における温室効果ガス排出量の把握と削減に取り組んでまいります。

開示内容は、当社のホームページをご覧ください。

<https://yondoshi.co.jp/pdf/tcdf.pdf>

株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <https://yondoshi.co.jp/>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3295 / FAX: 03-5719-4462

経営企画部 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを「コーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <https://yondoshi.co.jp/company/governance/>

■ 会社概要 (2022年11月30日現在)

社名	株式会社4°Cホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	8社

■ 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法) 当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) https://yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	8008

■ 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

お問い合わせ先

0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項は、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。